

ホドガヤ センチュウ[®] エース 注入剤

農林水産省登録 第 18531 号
農薬の種類 塩酸レバミゾール液剤(8.0%)

- ・有効年限 2 年
- ・包装 300cc×24 本、
600cc×20 本
- ・魚毒性 A 類（原体）
- ・P R T R —

特徴

- 殺センチュウ剤
- 速やかな移行性と分散性でマツノザイセンチュウにすばやい効果がある
- 点滴加圧注入ボトルを使用しているため、注入量が把握でき、確実な薬剤処理が可能である

作物名・使用できる場所
まつ（生立木）

適用病害虫・雑草木名
マツノザイセンチュウ

注意事項その他
適用表、効果・薬害の注意、安全使用上の注意は [PDF](#) でご覧になれます。

® は保土谷化学工業㈱の登録商標です。

掲載するにあたり万全を期しておりますが、使用する際にはラベルを良くお読み下さい

ホドガヤ
センチュウ[®]-E-ス 注入剤

■適用害虫と使用方法

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | 塩酸バミゾールを含む農薬の総使用回数 |
|--------------|----------------|---|------------------------------|---------|---|--------------------|
| ま っ (生立木) | マツノザイ センチュウ | 胸高直径(樹幹部) 10～15 cm 150 ml 15～20 cm 300 ml 20～25 cm 300～450 ml 25～30 cm 450～750 ml 30 cm以上は5 cm増す ごとに 300～600 ml を増量する。 | マツノマダラ カミキリ成虫 発生3か月前まで | 1回 | 樹幹部に 注入孔をあけ、 注入器の先端 を押し込み 樹幹注入する。 | 1回 |

■効果・薬害等の注意

- (1)マツノマダラカミキリの成虫によって伝播されるマツノザイセンチュウの侵入、増殖防止を目的とするもので、マツノマダラカミキリの成虫には効果がないので注意する。
- (2)使用量は注入木の材積(辺材部):1 m³当り、2ℓ を基準とする。
極端に樹高の高い松や枝張りの大きな松は多めに注入する。
- (3)注入後、薬剤が樹全体に移行するのに、若い木や樹勢の旺盛なものは1ヶ月、大木や樹勢の弱った木等は2～3ヶ月を要するので、注入時期はマツノマダラカミキリの発生する3ヶ月前までに行う。なお、効果は約2年間持続する。
- (4)一樹当りの注入孔数は2ヶ所以上を基本とし、注入孔をあける場合は樹幹の周囲にできるだけ等間隔に分散させ穿孔する。
- (5)注入孔は大きな節や瘤の真下を避け、地際より高さ2m程度の間やや斜め下方に向けて、ドリル等であけること。直径は6～9mmとし、深さは3～5cm程度とする。注入終了までの時間は注入量によって異なるが、普通3～6時間程度である。
- (6)注入は専用の注入器を使用し、樹幹に紐などで固定し、薬剤がもれないよう注入口の先端を孔にしっかりと押し込む。注入が困難な場合は、手押しポンプ等で加圧注入する。
- (7)加圧注入する場合は専用の注入器を使用し、圧力は平方センチメートル当り2kg以下とする。注入容器は4回以上再利用しない。
- (8)樹脂流出に異常を呈している松や、枝葉が変色した松には治療効果が期待できないので注

意する。

(9)注入の終了した孔は、癒合剤等を充填し、雨水や雑菌等が侵入しないように処置する。

(10)注入に使用した器具、容器は作業終了後すみやかに回収し、環境に影響を与えないよう安全に処理する。

(11)使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

■安全使用上の注意

(1)取扱いには十分注意する。

誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせる。

使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受ける。

(2)注入の際は手袋等を着用する。

注入液が身体に付着しないよう注意し、注入後は手足、顔などを石けんでよく洗う。

(3)公園、街路などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、注入中および注入後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。

保 管： 密栓し、直射日光を避け、食品と区別、冷涼・乾燥した所に保管する。